

前理事である「阿部 幸泰 氏」のHP記事(雑学バックナンバー)を紹介します。
阿部 幸泰 氏は、障害児(者)関係だけではなく、教育や社会などの分野の記事も書かれていました。
HP記事から抜粋したものを記載しますので、是非とも、ご覧ください。

「愛されることのみで 愛することを学ぶ」

阿部幸泰(2011年 2月 3日 記)

シンガーソングライター「成底ゆう子」の「ふるさとからの声」をご存じでしょうか。

沖縄：石垣島に生まれ、幼少から八重山民謡に親しんで育ち、音楽大学卒業後オペラ歌手を夢見てイタリアに留学するも、歌の上手な人ばかりが当たり前の環境で精神的に追いつめられ挫折し、帰国。

そんな彼女の元に、実家の両親から小包と一通の手紙が届き、手紙を読んだ彼女は涙ながらに両親に電話し、その電話でいつも遠ざけていた父から「お前の痛みや悲しみは父さんわかっているから」という言葉に励まされ、再びピアノの前へ。

昨年秋にメジャーデビューし、先の体験を基に作られた曲が「ふるさとからの声。」

自分は大学進学で仙台に来ただけに、当地に来た頃は故郷を遠く離れた寂しさと瀬戸内海の島育ちだけにカルチャーショックが重なり授業をサボり帰省したが、両親には急な帰省の訳も問われずに温かく包み込んでもらった。

また、京阪神圏在住の高校同窓生7人が、当時新幹線はなく夜行列車の見送りに大阪駅に来てくれた。

こうした体験があるだけに、人は、いかなる時も受け入れてくれる人がいてくれると感じる(心の居場所を感じる)と元気をもらえるだけに、この曲の歌詞(一部)にあの頃をつい思い出した。

【故郷から届いた包み 少しの野菜と缶詰と 箱の下には折りたたまれた 母の手紙が ありました ……

夢見失い 泣いて 泣いて 悔しい程に 自分の弱さと向き合えず 私の夢と一緒に 追いかけてる愛に気づいて 見慣れた文字に 涙が滲む

憧れたように 生きては行けず 思うよりも 心はもろく 耐えきれずに 夜中の電話 泣きじゃくる私に父は言う 「描いた道を 生きて行けばいい お前の涙 全部受けてやる」

泣いて 泣いて 悔しい程に 自分を信じてあげられず 話もろくにしなかった父 一番私を信じてた 励ます声に 愛が満ちてゆく …… 】【

「唯一教えることのできないことは愛すること。愛されることのみで愛することを学ぶ」といわれる。

確かに、古今東西、愛についてあまた語られ、あまた本があるが、それらを聞き、読んだからといって、人を愛せるようになるものでない。

「人を愛する」とは、言葉や文字では教えることはできないだろうなあ、つくづく思う。

NPO会員募集

つばめっこの活動を円滑に運営するため、会員を募っています。

正会員：5,000円(一口) 賛助会員：2,000円(一口)

【入金先】
口座番号：七十七銀行高砂支店 普通 9103279
名義人：トクヒ つばめっこ 理事 桑原 則子

【お問い合わせ】
〒981-3131 宮城県仙台市泉区七北田字日野123-9
TEL:022-372-0031 FAX:022-739-7236

(お知らせ)

最後まで、つばめっ
こめ～るをお読みいた
だき、ありがとうございます。

各記事に対する意
見・感想などがありま
したら、各事業所の職
員へお伝えください。

つばめっこめ～る

平成29年度 No.1
平成29年7月発行
発行責任者：桑原則子
編集責任者：熊谷聖司



特定非営利活動法人つばめっこ

〒981-3131
仙台市泉区七北田字日野123-9
TEL:022-372-0031
FAX:022-739-7236
<http://tsubamekko-1.uh-oh.jp/>

理事長 桑原 則子

福祉の法律が整備されると共に、事業所側には施策・ガイドライン・理念・専門的知識(資格)を持つ職員の配置などが、次々と求められるようになりました。もちろんこれらは、基本であり、子どもたちと接するうえで指針となるものですが、そのため机上の忙しさに埋没し一番大切なことを忘れそうになることがあります。

その時は、『専門知識を学ぶことより、(本人、家族に)寄り添うことが一番大切だよ…』と、故理事の阿部幸泰さんの言葉を思い出します。

制度だけでは解決できないことがあった時、ちょっと行き詰った時に、つばめっこを思い出してもらえ、ひと休みできる場となり、今利用している子どもたちや、少しずつ増えている卒業生と、その家族にとって、いつでもいつまでも安心できる場所となるために必要なことは何か、何ができるのか、をこれからも常に考えていきたいと思っています。

毎日の生活の中で、些細なことでも何でも、つばめっこが必要とされる存在でありたいと願っています。

～ 特定非営利活動法人 つばめっこ 第11回定期総会のご報告 ～

平成29年6月9日(金)に、七北田つばめっこにおいて第11回定期総会を開催しました。皆様方のご協力の下、円滑に閉会することができました。ご協力、誠にありがとうございました。

〔決議報告〕


- 副理事長の佐藤さち子が、辞任いたしました。後任として、現在理事の菊田繁が副理事長に就任することが承認されました。
- 新理事として、田中公一(現仙台青葉学院短期大学 助教)と熊谷聖司(現つばめっこ職員)が承認されました。それぞれ任期は、平成29年6月10日から平成30年6月9日までになります。

【つばめっこ役員】

理事長	桑原 則子 (継続)	副理事長	菊田 繁 (理事より)
理事	庄司 利美 (継続)	理事	佐藤 裕子 (継続)
理事	田中 公一 (新任)	理事	熊谷 聖司 (新任)
監事	江戸 静江 (継続)		

※平成29年6月10日より、役員は上記のとおりになります。よろしくお願いたします。

※放課後等デイサービス※

<p>『泉中央つばめっこ』 住所:981-3133 仙台市泉区泉中央 2丁目 19-10 TEL/FAX:022-371-0760</p>	<p>『七北田つばめっこ』 住所:981-3131 仙台市泉区七北田字日野 123-9 TEL:022-372-0031 FAX:022-739-7236</p>
<p>平成29年度は、1年生4名のお友達が新しく加わり、22名での船出となりました。 1年生4名に与えられた最初のミッションは、子供の日にむけてのジャンボ(?)鯉のぼり制作。半円に切り取られた大中小の色紙から、好みの色を1枚ずつ選び、小さい順に糊を塗って重ねて貼り付けて、鱗を作るというもの。 “何色を選べばいいのか”“どう貼ればいいのか”と悪戦苦闘をしながら、鯉のぼりの鱗を作る新米クルー達。どうにかこうにか鱗作りを終え、鯉のぼりが完成すると…。目を輝かせ「鯉のぼり〜」と歓声をあげていました。</p> 	<p>今年度は、サッカー専用になっていた庭を有効活用し、子どもたちと一緒にプチ畑を作りたいと考えております。 プチ畑には、サツマイモ、きゅうり、スナップエンドウ、プチトマトを植えたいと思っております。子どもたちと一緒に畑の手入れを頑張っていきたいと思っております。収穫した際には、ご報告しますので楽しみにしててください。 また、今年度の放課後活動も、おやつ作りや買い物を中心に、天気の良い日は外に出て公園などでも活動ができればと思います。土曜・長期活動は、調理やお出掛け、施設見学等様々な活動を計画していきます!!</p> 
<p>『栄つばめっこ』 住所:983-0011 仙台市宮城野区栄 2丁目 2-19 TEL/FAX:022-786-3031</p>	<p>『福室つばめっこ』 住所:983-0011 仙台市宮城野区栄 4丁目 16-18-201 TEL/FAX:022-254-2011</p>
<p>今年度、栄つばめっこは21名の登録でスタートしました。 栄つばめっこでは、5月にプラバン作りを行いました。大小、白色、透明など様々なプラバンに、思い思い好きな絵を描いたり、色を塗ったり。 完成した時の子ども達の笑顔は、完成したプラバン同様にとっても素敵なものとなりました。 また、昨年度から引き続きシャボン玉も人気絶頂で、晴れた日にはつばめっこのお庭や公園でシャボン玉遊びを行っています。</p> 	<p>福室つばめっこは3名が卒業し、新たに新入生3名が加わり、昨年同様26名でのスタートとなりました。 天気の良い日は、公園や広場に出掛け、遊具、長縄跳び、バトミントンなどで身体を動かし、室内では、母の日・父の日にちなみ、感謝の気持ちを込めたプレゼントとして、手作りコースターの製作をしました。それぞれに、自分の好きな模様のマスキングテープを貼り、かわいいコースターを完成させる事が出来ました。 福室の広い空間を利用して出来る遊びを提供して行きたいと考えております。</p> 

※短期入所(ショートステイ)※

<p>『つばめっこハウス』住所:981-3131 仙台市泉区七北田字日野 123-9 TEL:022-372-0031 FAX:022-739-7236</p>
<p>平成23年6月に当つばめっこハウスがスタートして、今年で6年が経ちました。 とても有り難いことに、年を追うごとに利用を希望する方が増えてきております。出来るだけ利用して頂けるよう調整を行っておりますが、放課後デイのスタッフと同じスタッフでショートも対応しているため、スタッフの調整が付かない場合、ご希望に添えないこともございます。何卒、ご理解ご了承を頂ければと思います。 今年度もつばめっこハウスをよろしく申し上げます。</p>

※相談支援事業所※

<p>『つばめっこセンター』住所:981-3131 仙台市泉区七北田字日野 123-9 TEL:022-372-0031 FAX:022-739-7236</p>
<p>当センターでは、昨年度に引き続きサービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成、福祉サービスの利用調整、関係機関との連絡調整などの対応をしております。近年、福祉サービスを利用するにあたり、サービス等利用計画・障害児支援利用計画が必要と言われる場合がある中、「相談支援の仕組みが分からない」「現状が分からない」という問い合わせが数多くあります。もし、分からないことや知りたいことなどがありましたら、お気軽にお問い合わせください(*^_^*)</p>

今、できること

今年、9歳になるダウン症の息子。言葉はほぼありませんが、音楽が大好きでやさしい男の子です。

でも正直、いろいろ大変です。(笑) まだ小さいし、新しい場所や人が苦手。いろいろ福祉サービスがあるけど、嫌がるなあ。あー、でもしんどい。そんな時、放デイ(放課後等デイサービス)の面談で「息子の場合、早くからいろんなサービスを受け、慣らしていた方がいいと思う。大きくなってからだ、いろいろ大変になると思います。」と言われ、共感。私がまだ息子をおんぶや抱っこできるうちに。少しずつ、無理せず、少しでもたくさんの方に、息子を知ってもら。家以外でゆっくり過ごせる場所を一緒に見つけることが、私のできることと思、周りの協力も得て、行動しています。

今、周りの協力の下、ショートステイ、移動支援、日中一時支援を受け、大きく成長しています。全て順調ではないですが、息子のペースでがんばっていると思います。

これからも息子と一緒に、楽しい場所、好きな人、息子の力になってくれる人を見つけていけたらと思っています。

ゆうこママの Happy News ♡ vol.4 ママ「せ〜んぶわかこるヨ♡」

Hello! お元気ですか♡

さあ、今回は子どもたちの声を代弁しますね♡

私は、ピロロというママバンドを18年してきて、いろんなところで子どもたちとふれあって、自信を持って言えることがあるの。それは、どんなに重いインテリの子どもたちもみんな「せ〜んぶわかこる」こと。私が歌いながら顔を近づけると、真実の子どもたちはキョキキョキしたり、瞳をむけてくれたりして、私は「たのし〜ヨロ」って伝えてくれるし、自閉症の子どもたちも背中をむけてこも、耳をふさいでこも、ちゅとちゅ近づいてこもくれたりするの。時々「うちの子何きわからんから」というママの声をきくと、私からしたら「え〜」小正動をだして、ちゃんと反応してるよ〜。わかこると思ってるよ何い見たいよ、子どもを信じてるよ、いっぱい見るとよ

不思議な出来事だけど、息子がまだおしゃべりできなかったころ、お風呂に入ったらまだまだ「わがわが」やたらと私に息子が「大丈夫だよ、ホワがいるじゃない!」って、言ってくれたの。ハッキリ聞かされたの! でも、話せるはずないの。と、いうことは、私のことを心配して、私の心に届けてくれたのよネ♡

私たちが思う以上に子どもたちは、私たちのこともよくわかっているのかもよ。子どもの気持ちも少しはわかるとは、細かい変化を見ることができないこと。コミュニケーションは工夫次第!! その子に合う表現方法を見つけようね。

「ホワ、せ〜んぶわかこるヨ♡ ママ、がんば!!」 てはては、また♡♡